

建築設備工事監理報告書【簡易版】

原則戸建て住宅に限る。

株式会社 近確機構 様

平成 27 年 6 月 1 日

工事の監理状況を報告します。
この監理報告書は事実と相違ありません。

P1の記入例

工事監理者 印

[報告事項]

項 目	報 告 事 項	P1	P2	P3					
1. シックハウス対策用換気設備	換気エリア・経路、建具等の通気性（換気計画図の添付）	(良)	否						
	換気スイッチの措置（常時運転を指示する注意書き等）	(良)	否						
	換気設備の取付・運転状況	(良)	否						
	給排気口の設置の状況（位置、大きさ、雨・虫除け対策）	(良)	否						
	換気ダクト等の施工状況	(良)	否						
	換気装置の能力の確認（計算書、カタログ等資料の添付）	(良)	否						
	上記 に代えて実測風量による場合は表1に記載のこと								
2. 火を使用する室、居室	該当する設備の有無	有	無						
	ファン及びダクト取付状態、運転状況	良	否						
	上記の報告に加え実測風量を表2に記載すること								
3. 延焼の恐れのある外壁の換気孔に設ける防火設備等	防火ダンパー・防火おおい（100cm ² 以下）	有	無						
	有効な検査・点検が可能な施工	良	否						
	貫通部のモルタル等不燃材による穴埋め及び取付状態	良	否						
	防火ダンパー等の設置状況	良	否						
4. 直接外気に面しない便所	該当する設備の有無	有	無						
	ファン及びダクト取付状態、運転状況	良	否						
5. 給湯設備の転倒等防止対策の措置（満水時15kg超）	該当する設備の有無（満水時の質量 k g）	有	無						
	給湯設備機器の建築物の部分等への緊結方法（底部・上部・側部）								
	適正な径、埋込長さ若しくは打込長さ、本数	良	否						
	施工箇所に堅固に取付し、ひび割れや損傷がないこと	良	否						
6. 給排水その他の配管設備	排水配管設備の末端接続	良	否						
	公共下水・私設下水道管・水路・（ ）								
	全ての配管の取付状態(建告第1388号)	良	否						
【表1】 風量測定記録 (シックハウス)	測定年月日 平成26年 4月 1日 会社名 (株) 測定者 氏名								
換気 EPA 番号	換気 種別	室名	床面積 A(m ²)	平均天井高 h(m)	気積 V=A×h(m ³)	換気回数 N(回/h)	所要換気量 Q=V×N (m ³ /h)	給気風量 (m ³ /h)	排気風量 (m ³ /h)
1階	3種	LDK・WC	34.01	2.4	81.624	0.5	40.812		40
2階	3種	寝室1							20
2階	3種	寝室2							20
申請時と変更がない場合は「申請時と変更なし」と記載してください									
【表2】 風量測定記録 (火気使用)	測定年月日 平成 年 月 日 会社名 測定者 氏名								
火気使用箇所	係数N	理論排ガス量 K(m ³ /h)	使用器具名 燃料消費量(m ³ /h)	燃料消費量合計	必要換気量 V×NK(m ³ /h)	必要換気量	実測風量 (m ³ /h)		
申請時と変更がない場合は「申請時と変更なし」と記載してください									

[報告事項] (窓用換気扇については定格風量を記載してもよい)

注。「工事計画・施工状況報告」指示書に基づく以下の報告区分に従い、上表の同列の(□)印の事項を報告すること。

なお、設備がない場合は不要。

(P1) 令第10条第三号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1)

防火・準防火地域以外の区域内にある4号ものの戸建て住宅(住宅以外の用途が延べ面積の1/2未満又は50m²以下のものに限る。)

(P2) 令第10条第四号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1.2.3)

上記以外の4号もの。

(P3) 令第10条第三号及び第四号の規定の適用を受ける建築物以外の建築物を対象とする。(提出項目:全て)

2・3号もの。

建築設備工事監理報告書【簡易版】

原則戸建て住宅に限る。

株式会社 近確機構 様

平成 27年 6 月 1 日

工事の監理状況を報告します。
この監理報告書は事実と相違ありません。

P2の記入例

工事監理者

印

[報告事項]

項 目	報 告 事 項	P1	P2	P3						
1. シックハウス対策用換気設備	換気エリア・経路、建具等の通気性（換気計画図の添付）	(良)	否							
	換気スイッチの措置（常時運転を指示する注意書き等）	(良)	否							
	換気設備の取付・運転状況	(良)	否							
	給排気口の設置の状況（位置、大きさ、雨・虫除け対策）	(良)	否							
	換気ダクト等の施工状況	(良)	否							
	換気装置の能力の確認（計算書、カタログ等資料の添付）	(良)	否							
	上記 に代えて実測風量による場合は表1に記載のこと									
2. 火を使用する室、居室	該当する設備の有無	(有)	無							
	ファン及びダクト取付状態、運転状況	(良)	否							
	上記の報告に加え実測風量を表2に記載すること									
3. 延焼の恐れのある外壁の換気孔に設ける防火設備等	防火ダンパー・防火おおい（100cm ² 以下）	(良)	無							
	有効な検査・点検が可能な施工	(良)	否							
	貫通部のモルタル等不燃材による穴埋め及び取付状態	(良)	否							
	防火ダンパー等の設置状況	(良)	否							
4. 直接外気に面しない便所	該当する設備の有無	有	無							
	ファン及びダクト取付状態、運転状況	良	否							
5. 給湯設備の転倒等防止対策の措置（満水時15kg超）	該当する設備の有無（満水時の質量 k g）	有	無							
	給湯設備機器の建築物の部分等への緊結方法（底部・上部・側部）									
	適正な径、埋込長さ若しくは打込長さ、本数	良	否							
	施工箇所に堅固に取付し、ひび割れや損傷がないこと	良	否							
6. 給排水その他の配管設備	排水配管設備の末端接続	良	否							
	公共下水・私設下水道管・水路・（ ）									
	全ての配管の取付状態（建告第1388号）	良	否							
【表1】 風量測定記録 (シックハウス)	測定年月日	平成26年 4月 2日								
	会社名 (株)	測定者 氏名								
換気エリア番号	換気種別	室名	床面積 A (m ²)	平均天井高 h (m)	気積 V=A×h (m ³)	換気回数 N(回/h)	所要換気量 Q=V×N (m ³ /h)	給気風量 (m ³ /h)	排気風量 (m ³ /h)	
1階	3種	LDK・WC	34.01	2.4	81.624	0.5	40.812		40	
2階	3種	寝室1	申請時と変更がない場合は「申請時と変更なし」と記載してください							20
2階	3種	寝室2	申請時と変更がない場合は「申請時と変更なし」と記載してください							20
【表2】 風量測定記録 (火気使用)	測定年月日	平成26年 4月 1日								
	会社名 (株)	測定者 氏名								
火気使用箇所	係数N	理論排ガス量 K(m ³ /kWh)	使用器具名 燃料消費量q(kW)	燃料消費量合計 Q= q	必要換気量 V=NKQ(m ³ /h)	実測風量 (m ³ /h)				
キッチン	40	申請時と変更がない場合は「申請時と変更なし」と記載してください				400				

[報告事項]

(窓用換気扇については定格風量を記載してもよい)

注. 「工事計画・施工状況報告」指示書に基づく以下の報告区分に従い、上表の同列の(□)印の事項を報告すること。

なお、設備がない場合は不要。

(P1) 令第10条第三号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1)

防火・準防火地域以外の区域内にある4号ものの戸建て住宅（住宅以外の用途が延べ面積の1/2未満又は50m²以下のものに限る。）

(P2) 令第10条第四号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1.2.3)

上記以外の4号もの。

(P3) 令第10条第三号及び第四号の規定の適用を受ける建築物以外の建築物を対象とする。(提出項目:全て)

2・3号もの。

建築設備工事監理報告書【簡易版】

原則戸建て住宅に限る。

株式会社近確機構 様

平成 27年 6 月 1 日

工事の監理状況を報告します。
この監理報告書は事実と相違ありません。

P3の記入例

工事監理者 印

[報告事項]

項 目	報 告 事 項	P1	P2	P3						
1. シックハウス対策用換気設備	換気エリア・経路、建具等の通気性（換気計画図の添付）	(良)	否							
	換気スイッチの措置（常時運転を指示する注意書き等）	(良)	否							
	換気設備の取付・運転状況	(良)	否							
	給排気口の設置の状況（位置、大きさ、雨・虫除け対策）	(良)	否							
	換気ダクト等の施工状況	(良)	否							
	換気装置の能力の確認（計算書、カタログ等資料の添付）	(良)	否							
	上記 に代えて実測風量による場合は表1に記載のこと									
2. 火を使用する室、居室	該当する設備の有無	(有)	無							
	ファン及びダクト取付状態、運転状況	(良)	否							
	上記の報告に加え実測風量を表2に記載すること									
3. 延焼の恐れのある外壁の換気孔に設ける防火設備等	防火ダンパー・防火おおい（100cm ² 以下）	(良)	無							
	有効な検査・点検が可能な施工	(良)	否							
	貫通部のモルタル等不燃材による穴埋め及び取付状態	(良)	否							
	防火ダンパー等の設置状況	(良)	否							
4. 直接外気に面しない便所	該当する設備の有無	(有)	無							
	ファン及びダクト取付状態、運転状況	(良)	否							
5. 給湯設備の転倒等防止対策の措置（満水時15kg超）	該当する設備の有無（満水時の質量 18 kg）	(有)	無							
	給湯設備機器の建築物の部分等への緊結方法（底部・上部・側部）	(良)	否							
	適正な径、埋込長さ若しくは打込長さ、本数	(良)	否							
	施工箇所に堅固に取付し、ひび割れや損傷がないこと	(良)	否							
6. 給排水その他の配管設備	排水配管設備の末端接続	(良)	否							
	公共下水・私設下水道管・水路・（ ）									
	全ての配管の取付状態（建告第1388号）	(良)	否							
【表1】 風量測定記録 (シックハウス)	測定年月日	平成26年 4月 2日								
	会社名 (株)	測定者 氏名								
換気エリア番号	換気種別	室名	床面積 A(m ²)	平均天井高 h(m)	気積 V=A×h(m ³)	換気回数 N(回/h)	所要換気量 Q=V×N(m ³ /h)	給気風量 (m ³ /h)	排気風量 (m ³ /h)	
1階	3種	LDK・WC	34.01	2.4	81.624	0.5	40.812		40	
2階	3種	寝室1	申請時と変更がない場合は「申請時と変更なし」と記載してください							20
2階	3種	寝室2	申請時と変更がない場合は「申請時と変更なし」と記載してください							20
3階	3種	寝室3	9.93	2.4	23.832	0.5	11.916		20	
3階	3種	寝室4	9.93	2.4	23.832	0.5	11.916		20	
【表2】 風量測定記録 (火気使用)	測定年月日	平成26年 4月 1日								
	会社名 (株)	測定者 氏名								
火気使用箇所	係数N	理論排ガス量 K(m ³ /kWh)	使用器具名 燃料消費量q(kW)	燃料消費量合計 Q=q	必要換気量 V=NKQ(m ³ /h)	実測風量 (m ³ /h)				
キッチン	40	申請時と変更がない場合は「申請時と変更なし」と記載してください				400				
ミニキッチン	40	申請時と変更がない場合は「申請時と変更なし」と記載してください				200				

[報告事項] (窓用換気扇については定格風量を記載してもよい)

注。「工事計画・施工状況報告」指示書に基づく以下の報告区分に従い、上表の同列の(○)印の事項を報告すること。

なお、設備がない場合は不要。

(P1) 令第10条第三号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1)
防火・準防火地域以外の区域内にある4号ものの戸建て住宅（住宅以外の用途が延べ面積の1/2未満又は50m²以下のものに限る。）

(P2) 令第10条第四号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1.2.3)
上記以外の4号もの。

(P3) 令第10条第三号及び第四号の規定の適用を受ける建築物以外の建築物を対象とする。(提出項目:全て)
2・3号もの。